



広報



市の木もくせい

FUSSA



平成19年(2007年)

11月1日 No. 746

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事

2面乳幼児保育サービスをご利用ください 3面不審電話にご用心ください 4面太陽光発電の設置に補助します
5面ごみ分別の手引き(改訂版)を配布します 7面軽スポーツ&とん汁会 8面女性に対する暴力をなくす運動

「児童虐待ってどんなこと？」

児童虐待は次のような行為がありますが、重複している場合もあります。

身体的虐待

- なぐる、ける等の暴力
- たばこの火などを押しつける
- 戸外に長時間しめ出す



ネグレクト(養育の放棄・怠慢)

- 適切な衣食住の世話をせずに放置する
- 病気なのに医者にみせない
- 乳幼児を置いたまま、たびたび外出する
- 同居人による虐待行為を放置する

心理的虐待

- 無視、拒否的な態度
- ののしる、言葉によるおどかし、脅迫
- きょうだい間での極端な差別扱い
- 子どもの前での配偶者への暴力

性的虐待

- 性的いたづら
- 性的行為の強要
- わいせつな写真の被写体になることを強要する

「子ども家庭支援センター」では、児童虐待の相談や初期対応を児童相談所と連携して行っています。

「子ども家庭支援センター」は「児童虐待」の相談の他、子育てに関するあらゆる相談や情報提供を行っています。

子どもたちが社会の大切な宝です。虐待を親だけの問題としてとらえるのではなく、子どもの健やかな成長を育むために地域で支え、見守っていくことが大切です。

「子ども家庭支援センター」は子どもと家庭に関するあらゆる相談を受けています

このような時、相談できる人が身近にいるだけで安心できるものです。

「子ども家庭支援センター」は子育てをされている親や養育者は育児の心配や不安を抱えがちなことです。

「子ども家庭支援センター」は子育てをされている親や養育者は育児の心配や不安を抱えがちなことです。

「子ども家庭支援センター」は子育てをされている親や養育者は育児の心配や不安を抱えがちなことです。

「子ども家庭支援センター」は子育てをされている親や養育者は育児の心配や不安を抱えがちなことです。

「子ども家庭支援センター」は子育てをされている親や養育者は育児の心配や不安を抱えがちなことです。

「子ども家庭支援センター」は子育てをされている親や養育者は育児の心配や不安を抱えがちなことです。

11月は「児童虐待防止推進月間」です
『きこえるよ 耳をすませば 心のさけび』
(平成19年度「児童虐待防止推進月間」標語)

子どもたちが健やかに育つためには、あってはならない虐待ですが、痛ましい事件が後を絶ちません。

「子ども家庭支援センター」は児童虐待防止推進月間「標語」です。

「子ども家庭支援センター」は児童虐待防止推進月間「標語」です。

「子ども家庭支援センター」は児童虐待防止推進月間「標語」です。

「子ども家庭支援センター」は児童虐待防止推進月間「標語」です。



交流スペース

「子ども家庭支援センター」内にある「交流スペース」は子育て中の親子が交流する場、子育て



子育てハンドブックも配布中

◆ いじめにあっている

◆ 虐待かどうかわからないけれど、気になる子どもがいる

◆ 子どもが可愛いと思えない

◆ 子どもが可憐いと思えない

◆ 虐待かどうかかわからないけれど、気になる子どもがいる

◆ 子どもが可愛いと思えない

◆ 子どもが可憐いと思えない

◆ 虐待かどうかかわからないけれど、気になる子どもがいる

◆ 子どもが可愛いと思えない

◆ 子どもが可憐いと思えない

◆ 虐待かどうかかわからないけれど、気になる子どもがいる

◆ 子どもが可愛いと思えない

◆ 子どもが可憐いと思えない

◆ 虐待かどうかかわからないけれど、気になる子どもがいる

◆ 子どもが可愛いと思えない

◆ 子どもが可憐いと思えない

◆ 虐待かどうかかわからないけれど、気になる子どもがいる

◆ 子どもが可愛いと思えない

◆ 子どもが可憐いと思えない

◆ 虐待かどうかかわからないけれど、気になる子どもがいる

広報ふっさ紙面にSPコードを掲載しています

視覚障害者の情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」(下図参照)を広報ふっさの紙面に試験的に導入しています。SPコードは縦横18mmの大きさに、日本語で約800文字の文字データを納めることができ、専用読取装置を使うことで、コードに記録されている文字情報を音声で聞くことができます。

当面は毎月1日号に連載している野澤市長の随想「きんもくせい」をSPコード化していきますが、今後さまざまな記事をコード化し、掲載していく予定です。

問合せ 秘書広報課 広報広聴係

子どもに関する相談窓口

名称	開設日
子ども家庭支援センター 南田園2-13-1(福祉センター2階) ☎539-2555	火曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時15分
東京都立川児童相談所 立川市曙町3-10-19 ☎523-1321	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時

待ちしています。

相談すること、聞くこと、学ぶことしかありません。市は、いつでも相談をお待ちしています。

大人の世界ではその上に意図的に嘘の情報も流されます。子どもにとっては親の、大人は自分の、選択と判断がさまざまな悲劇を生みます。自己責任です。

子どもは発達段階に応じて学ぶのでなく、関係なしに目の前に情報があります。チェックしないと何が良く、何が悪いかの価値判断ができない子どもが育ちます。

大人の世界ではその上に意図的に嘘の情報も流されます。子どもにとっては親の、大人は自分の、選択と判断がさまざまな悲劇を生みます。自己責任です。

子どもは発達段階に応じて学ぶのでなく、関係なしに目の前に情報があります。チェックしないと何が良く、何が悪いかの価値判断ができない子どもが育ちます。

大人の世界ではその上に意図的に嘘の情報も流されます。子どもにとっては親の、大人は自分の、選択と判断がさまざまな悲劇を生みます。自己責任です。

子どもは発達段階に応じて学ぶのでなく、関係なしに目の前に情報があります。チェックしないと何が良く、何が悪いかの価値判断ができない子どもが育ちます。

大人の世界ではその上に意図的に嘘の情報も流されます。子どもにとっては親の、大人は自分の、選択と判断がさまざまな悲劇を生みます。自己責任です。

子どもは発達段階に応じて学ぶのでなく、関係なしに目の前に情報があります。チェックしないと何が良く、何が悪いかの価値判断ができない子どもが育ちます。

大人の世界ではその上に意図的に嘘の情報も流されます。子どもにとっては親の、大人は自分の、選択と判断がさまざまな悲劇を生みます。自己責任です。

きんもくせい

情報を選ぶ



福生市長 野澤久人 福祉まつりにて